

おおの誠一郎

議会報告と提言



ご存知ですか？

JR佐貫駅から龍ヶ崎駅への 駅名改称問題！

連絡先

龍ヶ崎市宮湊町61
TEL 0297-62-1135
www.ohno-seiichiro.net
info@ohno-seiichiro.net

突然浮上した駅名改称

昨年1月、市長の所信表明で龍ヶ崎市の認知度アップとイメージアップ、定住・交流人口増加の効果が期待されるとして佐貫駅から龍ヶ崎駅への駅名改称が取り上げられた。

駅名改称の費用は5億～6億

佐貫駅から龍ヶ崎駅への駅名改称費用をJRに聞いたところ、総額5～6億円位かかるという。
(総務部長答弁)

駅名改称の効果は？

影響度調査の経済効果より計り知れない大きな効果を今後60年、100年に渡ってもたらす
(市長答弁) とのことだが大きな疑問であり、承服し難い。調査報告書に示されたメリット、デメリット、約1億6,500万円の経済効果そのものも根拠に乏しい。「佐貫駅」という駅名がそれほどのマイナス効果を及ぼしていたとは考えられない。

反対64.9%、賛成33.4%はどうなった？

串田前市長のときの市民意識調査では駅名改称は反対が64.9%と賛成を大きく上回り、事実上断念。以後、議題には上らず。

市民対話、市民参加はどこへ？

「馴染コミュニティセンターで意見交換会をした」(H27年1月) というが、それは「施政方針でこの議場から私がゴーサインをだした」(H26年3月) 後のことで、意見交換会は説明会のような感じだったという声を聞く。これで「市民参加」の政治だと言えるのか？

(ウラへ続く)



市長が駅名改称を決定？

市長が決定？した事を、後から「市民と行政との協働のまちづくり」をするのが市長の考える協働のまちづくりなのか？ 駅名改称のゴーサインは反対64.9%の市民の声を重くうけ、市民との合意形成をしてから出すもの。順序が全く逆である。

市民と行政との協働のまちづくりは？

市は「ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」で「市民と行政の協働のまちづくり」を掲げて4年目に入り、昨年12月には市長が「まちづくり条例」を提案して満場一致で可決した。

仏つくって魂入れず

立派な仏像を作っても、肝心の魂が入っていないというのが「仏つくって魂入れず」である。「まちづくり条例」も「ふるさと戦略プラン」（子育て環境日本一、市民活動日本一を掲げる）も立派なできあがり。その内容に是非とも魂を入れていただきたい。

駅名改称よりも龍ヶ崎市の中身の充実を！

看板のかけ替え（佐貫駅から龍ヶ崎駅）に5億から6億をかけないで、この手持ち資金（自主財源）で龍ヶ崎市の子ども、子育て支援策、超高齢者対策、人口減少時代を迎えての定住人口増加、交流人口増加、雇用、起業、企業誘致の産業振興の対策をはかる必要がある。中身が充実すれば、龍ヶ崎市の認知度向上、イメージアップは当然。

今こそ市民が主役の市民自治龍ヶ崎に — おおの誠一郎活動方針

農商工活性化

- 地場産業の育成・支援
- 起業・NPO法人の設立・支援
- 環境保全型農業の確立 --- 地産地消の促進、直売所
- 中心市街地活性化・新都市拠点開発・企業誘致推進

福祉

- 障害者自立支援の施策 --- 就労・住環境・医療の整備
- 子ども・子育て支援事業展開
- 高齢者の健康・生き甲斐づくり 介護体制の充実
- 市民後見人の養成・普及

行財政改革

- 公平・公正・透明な市政運営
- 市長・議員等の報酬カット
- 議員定数の削減
- 財政健全化の推進
- 行政・市民のパートナーシップ事業の展開

環境問題

- 地球にやさしい街づくりプランの推進
- ゴミ減量、生ゴミ堆肥化、循環型社会の実現
- 子どもたちのための環境改善。体験教育の拡大実施

教育・文化

- 地域と学校が一体となって進める教育の街づくり
- スポーツ・文化活動支援事業
- 空き教室の利用等、学校施設の有効活用促進

おおの誠一郎の横顔

- ・龍ヶ崎市宮淵町に生まれる
- ・龍ヶ崎第一高等学校卒業
- ・中央大学法学部卒業
- ・龍ヶ崎市議会議員
- ・龍ヶ崎市バレーボール連盟会長
- ・有機農業研究会会長
- ・「味噌作り体験」（2000年～現在）
- ・「アグリフェスタ」（2000年～現在）
- ・「元気アップ直売所」（2005年～現在）